

# ねっとわーく

市町村のページ〔特集：公民館と子どもたち〕

- ・公民館と子どもたち ……………福岡市金武公民館
- ・公民館で子ども達の「自学・自習の力を」  
……………遠賀郡芦屋町中央公民館
- ・味坂っ子通学合宿 ……………小郡市立味坂校区公民館
- ・夏休み子どもおもしろ体験 ……………築上町築城公民館

平成22年11月 公民館情報通巻118号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7  
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内  
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

## シリーズ：公民館と子どもたち



味坂っ子通学合宿（小郡市立味坂校区公民館）

# 公民館と子どもたち

## 福岡市金武公民館

金武は、飯盛山と室見川の豊かな自然に恵まれた地域で、新興住宅の増加で子どもの人口も増えています。公民館では、里公園予定地を拠点に子どもたちがいろいろな経験を通して人と関わることの楽しさや大切さを学び、身近にある自然への関心を深めてもらいたいといろいろな事業を行っています。

### かなりんピック

金武の田んぼで行う「かなりんピック」。汚れるのを嫌がっていた子どもたちも、時間が経つにつれて泥だらけ。田んぼに親しみ、泥遊びがしろかきの役割をしています。この田んぼで米作りをしている田育の会のメンバーとの交流も目的にしています。



### 川あそび

今年で18回目。校区にある竹を使って地元少年消防団の指導でいかだを作ります。小学校PTAや子どもに関わる諸団体の協力を得て、室見川に浮かべたいかだに乗って遊びます。遊んだ後は河川敷のゴミ拾いをし、おにぎりや焼きそばを食べます。川の安全といつまでもきれいな川であるよう環境にも関心を持ってもらいたいと思います。



### かかし作り

田園風景が広がる校区で、今年初めての取り組みです。

かかしの目的や役割を話し、子どもたちが自分で考えたかかしを設計図にまとめ、親子で協力して作られたかかしは、田んぼに立てます。金武の風物詩になるよう続けていきたいと思っています。



### ほうけんぎょう

校区に古くから伝わる行事を子ども会が中心に開催。この中で、竹のお箸作りをしています。老人クラブとの交流で、小刀で1本の細い竹を上手に削りながら作ります。子どもたちもコツを教わりながらお箸を作り上げます。自分で作ったお箸で豚汁やぜんざいをおいしくいただきます。



これ以外にも、ホテルの観察や里公園予定地にある果樹園での作業や収穫など、一年を通して恵まれた自然を活かした事業を行っています。

昨年、金武小学校6年生アンケートで、金武の町の自慢ベスト3は「自然」「人々」「行事」だったそうです。公民館、自治協議会、学校が一体となって、校区全体が子どもたちの安全、安心な居場所となるよう取り組んでいきたいと思っています。

## 公民館で子ども達の「自学・自習の力を」

遠賀郡芦屋町中央公民館

### 芦屋町の概要

世帯数 6,700、人口約 15,700 人。小中学生 1,550 人（1 中・3 小）。遠賀川が響灘に注ぐ最下流に位置する町。中世から茶の湯釜の名器として誉れ高い「芦屋釜」生産地の町である。

「芦屋釜の里」工房では鋳物師がその復興・復元中。「芦屋の子どもは芦屋で育てる」「子ども・脱携帯宣言」など、町ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいる教育の町である。

### 公民館と子どもたち

生涯学習拠点施設として、どの世代にも活用される公民館を目指している。中央公民館にはギャラリーが併設され、著名な郷土出身画家等の小・中学生対象絵画鑑賞会、町美術専門職員によるアート・ワークショップ教室の企画等、子ども達に対する芸術活動振興にも寄与している。



### 学びの場としての公民館—芦屋町「土曜学び合いルーム」

（上・名画の鑑賞風景）

平成 14 年度、学校週 5 日制に伴う土曜日の子どもの受け皿づくりの一環として、基礎学力の定着を目的に継続 9 年目を迎えている。教育委員会生涯学習課が主管する学校外社会教育支援事業である。各小学校区にある 3 公民館で毎週土曜日 2 時間の自主学習が基本。福岡教育大学・九州共立大学の学生・教員 O B ・教職員等のボランティアの協力・支援で実施。異学年共学。学校とは異なる子ども達の学びの世界がある。



（上・中央公民館の学習風景）

中学生は部活動の関係で参加者が少ない実態はあるが、小学 1 年当初から登録し 9 年間参加している生徒もいる。昨年度は初めて 29 回皆勤の小学生も 3 名誕生。参加している子どもの学力や体力の検証は困難であるが、確実に自主的に学ぶ意志や意欲と、最低限土曜日の午前中ノーメディアを実践している子ども達の輝く顔が集う公民館。

#### 芦屋町「土曜学びあいルーム」の概要

※ 平成 21 年度実績より紹介

- 1 年間平均 29 回（3 公民館で 86 回）
- 2 登録者率は全小学生の 31%
- 3 1 年間の参加延べ数は 2,425 名
- 4 ボランティア延べ数は 472 名  
（大学生等が 221 名、町内教員 251 名）
- 5 20 年度から、月 1 回運動の日を設け、学習 21 回、運動 8 回の割合に。

〈問合せ先〉 芦屋町中央公民館 遠賀郡芦屋町中ノ浜 4-4

電話 093-222-1681 FAX 093-223-5688



# 味坂っ子通学合宿

小郡市立味坂校区公民館

## <通学合宿の概要>

当公民館で通学合宿がスタートしたのは平成 18 年、今年で 5 回目を迎える。「食」の大切さを子ども達に伝えたい、子ども達に朝ごはんを大事にしてほしいとの思いから健康を守る母の会(食生活改善推進会)が提案し、味坂校区青少年育成会・味坂健康を守る母の会・校区公民館で食育を考えた通学合宿を始めた。

18~20 年は 2 泊 3 日の取り組みだったが、21 年は県の推進事業で補助を受けられたため、2 泊 3 日と 6 泊 7 日の 2 回、開催した。昨年は味坂っ子通学合宿実行委員会を立ち上げて取り組み、子ども達のためによりよい通学合宿にしようと、育成会、保護者、地域の方々、公民館との連携がとれた活動になった。

## <目的>

基本的な生活習慣を通して子ども達に自分のことは自分でやり遂げる習慣や能力及び協調性を習得させること

## <特色>

### 1. 地域の子どもは地域ではぐくむ

スタッフは主に育成会を中心に地域の方々のボランティアで形成される。宿泊担当・お風呂担当・見守りなど関った地域の方々は 100 名ちかくになる。公民館周辺の個人宅に依頼し、もらい湯も実施した。

### 2. 食育を大切に考えた通学合宿

参加する子ども達を対象に通学合宿前に 2 回ほど研修会が行った。内容は健康を守る母の会が朝ごはんの大切さや栄養の話など食育授業をする。それから班毎に通学合宿中の献立をたて、材料は何が必要か、一つずついるものあげて、買い物のリストを作り子ども達に食べ物について考えさせる。

### 3. 子どもたちが自力で考え、協調性をやしなう

通学合宿中は決められたスケジュール通りに動くためには、身の回りをきちんと片付け、協力して掃除や調理など生活がスムーズにいくようにする。通学合宿に入校式してすぐに取り組むことは、献立した材料の買い物である。研修で決めた材料をいかに安く仕入れるか、材料選びが大変であるが、子ども達は会計係が電卓をたたきながらどの班も決められた予算内で上手に買い物をしていた。

## <成果>

普段は家に帰ると宿題をしておのびりテレビでも見ていれば夕飯が出てくる生活をしていた子ども達が合宿中は大忙しである。学校から帰るとまず着替えて、宿題をし、すぐに夕飯の用意、夕食もそこそこに茶碗の片付け、終わると、洗濯、それから近所のお宅へお風呂をいただきに、就寝前に学習と準備など、とにかくめまぐるしい。あたりまえのように食べていたご飯や洗濯、掃除など家族に支えられて自分の生活ができていたかに気づく。通学合宿閉校式には迎えにきてくれた家族への感謝でいっぱいになっている。

<通学合宿を終えて 6 年女子>



買い物中



ボランティアスタッフさんの分も作ります。1 班 10 人分

お母さんの苦勞がわかった。お手伝いを少しはしようと思う。他の学年の子と夜いろいろな話ができよかった。地域の方々ありがとうございました。自分は最後の通学合宿でしたがこれからも続けていってください

# 夏休み子どもおもしろ体験

## 地域の概要

築上町は、福岡県の北東部・周防灘に面して位置する。農業が主で、米作・スイートコーン・レタス・イチゴ・梨・イチジク・自然薯等特産品があり、物産館「メタセの杜」で販売している。

## 夏休み子どもおもしろ体験教室について

日々活動している築城地区の小・中学生の子ども(アンビシャス広場)を公民館で実施し、役員・推進員・保護者・地域住民のボランティアの方々がお世話して下さっています。

公民館では、夏休み期間中、築城アンビシャス広場と共催で「夏休み子どもおもしろ体験」を実施しています。今年は、絵画教室(夏休みの宿題を仕上げよう!）・クッキング(パスタづくり)・物づくり(牛乳パック・ペットボトルを使って)・クッキング(そうめん流し)を行いました。

スタッフは、地域ボランティアの方々・地域活動指導員・公民館職員の協力で、友だちや大人の人たちと楽しく交流し、地域ぐるみで心豊かな夢と希望に満ちあふれた、青少年を育成する良い機会だったと思います。



パスタ作り・もちろん手打ちです。



流しそうめん・夏の定番です。

## これからの活動について

築城地区の小・中学生が放課後や休日に気軽に立ち寄れる居場所(アンビシャス広場)として公民館を開放することにより、子どもたちが友達や地域の大人たちと楽しく交流し、自由に遊んだり、本を読んだり、体験活動ができるよう努力して行きます。公民館と地域が連携し、将来にわたり子どもの居場所を、確保してゆく事が、安全で健康な子どもの育成に繋がると考えております。

問い合わせ先 : 築上町築城公民館 (TEL0930-52-0066・Fax0930-52-2484)